

1. 工 事 概 要

1. 工事名称 公立大学法人岩手県立大学共通棟D棟1階入浴実習室改修工事

2. 工事場所 岩手県滝沢市滝沢字菓子地内

3. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	備 考
入浴実習室	R造	3 F	-----	

[illegible]

空気調和方式等	・ 空気調和	・ 全空気方式 ・ ファンコイル・ダクト併用方式
	・ 温風暖房	・ バック・方式 ・ 湯気暖房設備
給水方式	・ 直接暖房	・ 全空気方式 ・ ファンコイル・ダクト併用方式
	・ 水道直管方式	・ 蒸気暖房 ・ 温水暖房
排水方式	・ 建物内の汚水及び雑排水	① 加压送水方式 ・ 分流水 ・ 合流水
	・ 放流水	・ 汚水 ・ 下水道直接放流 ・ 処理浄化槽 ・ 雑排水 ・ 下水道直接放流 ・ 処理浄化槽 ・ 側溝
給湯方式	・ 局部所	① 中央式
消火設備方式	・ 屋内消火栓	・ 連続給水管 ・ 断熱給水管 ・ スプリンクラー
	・ 一般消火栓消火	・ 連続給水 ・ 粉末滅火 ・ 油滅火 ・ その他

1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事仕様書様式（機械設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）及び公共建築設備工事標準図書（機械設備工事編）（最新版）による。

2. 特記仕様

項目	番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項	○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は ※ 印の付いたものを適用する。 ○印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。

一般共通事項	(16)	はつり
	(17)	他工事と取り合い
	(18)	手続
	19.	予備品等
	20.	配管の建部の変位
	(21)	管周囲の砂及び埋
	22.	地中埋設及び埋設テープ
	23.	絶縁継手
	24.	井等のサ
	25.	試
空調設備	(26)	保
	(27)	完成時提 * 建築に準
	28.	工事実績の登 (工事カル
	(29)	施工条件
	30.	その他
	1.	温湿度調整目標
	2.	ばい煙濃
	3.	ばいじん測定
	4.	煙
	5.	煙
6.	ダク	
7.	風量測定	
8.	防煙ダク	
9.	防火ダン	
10.	配管材料	
11.	井	
12.	鋼管	
13.	伸縮管継	
	温度	

建物導入部の変位吸収は標準図（施工４及び５）による。

対象管 ・ 給水管 ・ ガス管 ・ 油管

イ）管周囲の保護 ○ 山砂 ○ 良質発生土

ロ）埋戻し土 ○ 山砂

地中埋設及び埋設用テープは、下記による。

イ）給水管埋設用テープ（※要） ・ 不要 埋設表示用テープ（※要） ・ 不要）

ロ）ガス管地中埋設用（※要） ・ 不要 埋設表示用テープ（※要） ・ 不要）

ハ）油管地中埋設用（※要） ・ 不要 埋設表示用テープ（※要） ・ 不要）

図示による。

特に明記のない弁等のサイズは、接続配管サイズに同じ。

凍結の恐れのある水道管、冷温水管等の一部施工時の気密試験については、水压試験を空圧試験に代えることが出来るが、完了時までに水压試験を実施すること。

本工事の請負者は、工事期間中工事的物及び工事資材に対して、下記に於り相立保銀に加入する。その保銀証書の写しを監督官に提示する。

加入金額	請負金額の100%
加入時期及び期間	資材搬入前から完成後30日まで

室 内 (目 標 値)								備 考
外 気		一 般 系 統						
温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	
夏季	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	
冬季	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	
(DB) (RH)		(DB) (RH)		(DB) (RH)		(DB) (RH)		

標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。
 (配管用はし形、ダクト用は丸形)
 イ) 空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、還気ダクト及び外気ダクト
 ロ) 冷温水ヘッダー(往)及び冷温水ヘッダーの各通り管
 ハ) パッケージ形空気調和機の冷却水出口

1. 量水器	観メーターは ※ 借用 ・ 買取り 子メーターは ※ 買取り
2. 量水器料	イ) 観メーター用 ・ 水道事業者の指定店 ・ 標準図(機材 57) ロ) 子メーター用 ・ 水道事業者の指定店 ・ 標準図(機材 57)
3. 配管材料	イ) 一般用 ロ) 塩化ビニリング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管(PB) ・ ステンレス鋼管 ロ) 地中用(屋内地中も含む) ・ 塩化ビニリング鋼管(VD) ・ ポリ粉体鋼管(PD) ・ ビニル管 ・ ポリエチレン ※ 鋼鉄製 ・ ステンレス製(・ 継付 ・ 継無)
4. 放水栓 ボックス	水道直結部分 ※ JIS5はJV 10K 高置水栓以降 ※ JIS又はJV 5K ・ JIS又はJV 10K
5. 弁類	一般放水栓 ・ 耐寒水栓
6. 給水栓	※ 一般敷地内(0.6m以上) ・ 敷地内車輦道路(0.6m以上)
7. 埋設深さ	(※ 水道事業者及び道路管理者規定による)
8. 埋設弁開閉用 ハンドル	※ 第二工に ※ 含む(水道事業者管理用以外の弁操作用)
9. 保温	イ) 量水器内の保温を行う。 ロ) 屋外配管(井・フレンジ管を含む)は、標準仕様書第2編2.3.5表e2(Ⅱ)、厚さは、呼び径25mm以下のものは50mm、呼び径32mm以上のものは40mmとする。
10. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要(・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
11. その他	給水栓の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。

1. 石綿の事前調査	本工事着手にあたっては、大気汚染防止法および石綿障害予防規則による、石綿調査を行い、調査終了後、遅滞なく監督員へ報告すると共に、電子シスチンで報告を行うこと。
------------	---